



学校だより

2月号



令和6年1月31日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

桃太郎伝説

副校長 青柳 英樹

この冬休みに、岡山へ旅行に行ってきました。目的地はジーンズの聖地、児島です。ジーンズストリートにあるお店にはたくさんのお客さんがいて、とても賑わっていました。私はデニムジーンズが大好きで、糊を落としていない新品（リジット）を、履き込んで洗濯を繰り返し、エイジングを楽しんでいます。17年間履き込んだジーンズの色落ちは、どのお店の店員さんにも絶賛されました。

その日の午後には、造山古墳に行きました。この古墳は、全国で4番目の規模の前方後円墳で、なんと古墳の上に上がることができます。上から周りを眺めると、小さな古墳がいくつもあり、貴重な体験になりました。

さて、岡山といえば桃太郎。今回の旅行中に、いくつかの桃太郎伝説に接しました。その一つは次のようなものでした。

「吉備の国で鬼たちが暴れ回り、村人を襲っているらしい。」という噂が大和の国の桃太郎に聞こえてきます。桃太郎は、「吉備の国は大切な国。鬼退治に行かせてください。」と大王の父に言い、吉備に向かいます。吉備に着くと相手の城に向けて矢を放ち、鬼を倒しました。

数年後、寝ている桃太郎の夢に鬼が現れ、語ります。「自分は他国の王子だったが、隣国との戦いに敗れ、この国に逃れ、吉備に流れ着いた。鬼と間違われて暴力を振るわれ、山に逃げ込みそこに住まいを構えた。悪さはしていない、山の麓の村に行ってみるといい。」と。桃太郎が村に行ってみると、少年が熊から助けてもらったり、食べ物をあげたお礼に農具や漁具をくれたり、村人に受け入れられ、山から下りて結婚したことを知りました。その後、桃太郎は自分を責め、人々の幸せのために身を尽くそうと誓いました。（おかやま桃太郎ものがたり「吉備津彦と温羅」より）

この伝説に触れた時、なぜ桃太郎は事実を確かめもせずに、噂を聞いただけで鬼を退治してしまったのか、疑問に思いました。同時に、日常生活でも注意深く気をつけないと、似たようなことが起こると思いました。SNS等により、多くの情報に触れる機会が多い今、その情報の真偽を確かめる必要があると思います。人から聞いただけで行動言動に移すと、思わぬトラブルや人間関係の悪化につながってしまう恐れがあります。情報を受ける側だけでなく、発信する側も、正確な内容を発信しないと、トラブルのもとになりかねません。十分に気を付けて、過ごしていきたいと思いました。

本年度もあと2か月です。卒業式や修了式まではそれよりも短いです。子どもたちが気持ちよく卒業、進級できるように取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様の、引き続きのご理解とご協力を、お願いいたします。